

科目名	臨床実習 I					
分野	専門分野	担当教員	馬場 泰行			
開講時期	1学年 1・2・学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	45					1
科目の概要	問診、視診、触診、関節可動域の測定、徒手検査法等を正しく理解、習得し 柔道整復師としての治療技術向上に励む。					
学習の到達目標	診察技術を向上させ、それに基づく治療計画と 的確な治療の実施につなげることを目標とする。					
成績評価の方法と基準	出席評価、筆記試験					
使用テキスト	柔道整復学(理論編・実技編)					
参考文献	特記事項なし					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	「痛みとは」(痛み発生のメカニズム)①					
2	「痛みとは」(痛み発生のメカニズム)②					
3	「痛みとは」(痛み発生のメカニズム)③					
4	「痛みとは」(痛み発生のメカニズム)④					
5	「痛みを診察しよう」①					
6	「痛みを診察しよう」②					
7	「痛みを診察しよう」③					
8	「痛みを鑑別しよう」①					
9	「痛みを鑑別しよう」②					
10	「痛みを鑑別しよう」③					
11	ROMの測定説明					
12	ROMの測定(肩関節)					
13	ROMの測定(頸部)					
14	ROMの測定(腰部)					
15	総合評価(まとめ)					

16	ROMの測定(足関節)
17	ROMの測定(総まとめ)
18	徒手検査法Ⅲ(頸部、胸郭出口症候群の確認)
19	徒手検査法Ⅳ(腰部、股関節の確認)
20	徒手検査法Ⅴ(筆記テスト①)
21	徒手検査法Ⅵ(筆記テスト②)
22	筋硬度計を用いた実技
23	各手技法による身体の変化Ⅰ
24	各手技法による身体の変化Ⅱ
25	各手技法による身体の変化Ⅲ
26	徒手検査法Ⅰ(肘部・手部)
27	徒手検査法Ⅱ(全体復習)
28	徒手検査法Ⅲ(頸部、胸郭出口症候群の確認)
29	徒手検査法Ⅳ(腰部、股関節の確認)
30	総合評価(まとめ)

(2026年度)